

☆☆「強く 正しく 健やかな西小っ子」に！☆☆

大村市立西大村小学校
学校だより

一歩前へ

文責：校長 高木 修
令和7年7月18日 No.9

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

◆ 1学期終了!!



平年より約3週間も早く、そして観測史上最速の梅雨明けで、6月末から真夏日が続きました。熱中症計の数値は連日「31」前後で、くすのきタイムや昼休みは、運動場で遊べない日も多くありました。いつもであれば、うるさくも感じるセミの合唱も今年はなかなか始まらず、最近になってようやく聞こえだしたその声や、子どもたちが手に持っているセミの抜け殻になぜかほっとしているところです。

さて、本日をもって1学期が終了します。感染症等による学級閉鎖や大雨による臨時休業もなく、今学期に計画した活動は、予定どおりに実施することができました。特に今年度から、運動会が5月開催となり、いつもとは違う1学期となりましたが、6年生を中心によくまとまり、頑張る姿を見ていただけたのではないかと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、いつも、学校運営に御理解と御協力をしていただき、本当に感謝をしています。ありがとうございました。

明日から44日間の夏休みに入ります。安全面、健康面には十分留意しながらも、楽しく充実した休みにしてほしいと思っています。是非、御家族でも話し合い、一緒に計画を立ててみてください。

夏休みが子どもたちにとって、有意義な毎日となることを心から願っています。



◆ ひまわり計画



西大村中学校では、「ひまわり計画」ということで、毎年育てたひまわりを、お世話になった人たちや地域に配る活動をしているそうです。それで、本校の卒業生の皆さんが、たくさんひまわりを届けてくれました。写真のように、早速、校内のあちらこちらに飾らせていただきました。7月13日(日)に「社会を明るくする運動の弁論大会」がさくらホールで開かれたので、聞きに行ったのですが、そのときも帰りに参加者にひまわりが配

られたのです。実はこれも、西大村中の皆さんが育てたひまわりだったそうです。一気に明るくなった校内を見てもそうですが、中学生の皆さんの温かい心遣いに触れ、心の中にも大輪の花が咲いたような明るい気持ちになりました。西大村中学校の皆さん、ありがとうございました。

◆ 平和集会



8月9日(土)は登校日となっています。長崎県では、原子爆弾が投下されたこの日を「県民祈りの日」と定め、原爆犠牲者の御冥福をお祈りするとともに、恒久平和への誓いを新たにしています。

西大村小学校でも、その趣旨に則って全校で平和集会を行います。

長崎県民として、心の底から平和を誓う日にしたいと考えています。



1学期に頑張ったこと、2学期に頑張りたいこと

私が1学期に頑張ったことは三つあります。一つ目は算数の「長い長さ」です。巻き尺を0の目盛りに合わせて、はかるのを頑張りました。二つ目はあいさつです。学校に行くときと帰るとき、学校にいるときに誰にでも大きな声で、気持ちの良いあいさつをすることができました。三つ目はチャイム席です。授業が始まる前の1分前には席に着き、みんなに声かけをすることができました。2学期に頑張りたいことは、係の仕事を自分からすることです。そのためにちゃんと仕事をしたか、毎日振り返りをします。
(3年 T. Mさん)

私が1学期に頑張ったことは二つあります。一つ目は漢字の学習です。50問テストの前は100点をとるために5ページ使って覚えました。練習では難しい漢字に気をつけて頑張りました。テストでは94点を取りました。練習していてよかったです。二つ目はひまわりの水やりです。理科で5月くらいに畑に植えました。それから毎朝水やりをしたり、放課後水やりや雑草抜きをしたりして、大切に育てました。今では、高いのは私の胸くらいの高さになっています。先生から、「暑い中ありがとう。」と言われて、とてもうれしかったです。2学期に頑張りたいことは、漢字の学習です。その理由は、私は漢字が苦手だからです。今度は漢字50問テストで100点を取りたいです。そのために漢字のノートにいっぱい練習をして、しっかり覚えていこうと思います。
(3年 O. Rさん)

「価値ある2位」

私にとって1学期最大のイベントは、4年3組と5年2組との合同で行った百人一首大会でした。私はこの大会に出るため、自学ノートに札を書き出し、暗記したり弟と対戦したりして練習を重ねました。それでも当日は、緊張とプレッシャーで心がいっぱいでした。でも、「私ならできる」と自分に言い聞かせて、いざ本番へ。たくさんの友達の応援が力となり、1回戦・準決勝と勝ち進むことができました。決勝はというと…、接戦の末、私は1枚差で負けて「2位」でした。正直、悔しくて悔しくて、涙をこらえるのに必死でした。でも、時間が経ち、ふと我に返ったとき、気づいたことがありました。それは、負けたからこそ見えた景色があったということです。「応援してくれる仲間のありがたさ」や「本気で挑むことの大切さ」など、この大会が私に教えてくれたことは計り知れません。この、「悔しい」という経験があったから、もっと上を目指せたのだと思います。また、プレッシャーに押しつぶされないように、日頃から発表をして、強い心にしていけばいいのではないかと考えるようになりました。つまり、「2位という結果」をどう認識するかは、自分次第だったということです。この経験があったからこそ、私は成長できたし、この結果に心から感謝できるようになりました。また、最後まで応援をしてくれて、一緒に様々な行事も乗り越えてきた大好きな6年1組の仲間にも、心から感謝しています。本当にありがとう。1学期の様々な経験を生かして、西小をさらに良くできるように、これからも努力していきます。
(6年 K. Kさん)

「1学期を振り返って」

5年生までの私は、ちょっとしたことですぐにあきらめていました。算数は誰よりも計算が遅くて不安でした。国語も正直なところあまり得意ではありません。そんなとき、お母さんからある言葉を言われました。「挑戦しないと何も始まらないよ。」その一言が私の心に刺さりました。私の中でその言葉は、小学校生活に大きく影響する言葉でした。自分でも挑戦しないと何も始まらないことは知ってはいたけど、なかなか実行できずにいたのです。6年生になって、勉強の内容も難しくなりました。ですが、そこであきらめるのではなく、何度も何度も練習をしてみることにしました。漢字は何ページも練習しました。ドキドキしながらテストを受けましたが、1学期に受けた漢字50問テストでは、2枚とも満点をとることができました。漢字だけではなく、算数も毎日頑張りました。算数では、「マイプラン学習」といって自分のペースで学習を進められ、前よりも恥ずかしがらずに先生に「分かりません。」と言いやすくなり、素直になれるようになりました。何度も問題に挑戦し、1学期のまよめのテストでは95点をとることができました。とてもうれしかったです。生活面では、「みんなの笑顔があふれるあいさつ」をしようと心がけています。6年生に上がり、みんなのお手本になり、今までどおりでは恥ずかしいと思うようになりました。地域でも笑顔であいさつをして、みんなのお手本になるように挑戦したいと思います。2学期以降も、何でも挑戦したいと思っています。
(6年 K. Yさん)